

変えよう！杉並区政

杉並区議会議員 杉並わくわく会議代表

松尾 ゆり



わくわくレポート198号
2020.8.15.発行

連絡先：
杉並区下井草1-25-36
tel&fax：03-5930-3181

杉並区を提訴しました！

杉一小土地交換の情報公開を求めます

このたび、東京地方裁判所に情報公開の訴えを申し立てましたので、皆様にご報告します。

訴えの内容は、阿佐ヶ谷の「土地区画整理事業」に関して区有地（杉一小等）の

- ①土地交換情報が非公開とされたのは不当なので撤回せよ
 - ②非公開とされた情報を公開せよ
- の2点を求めるものです。



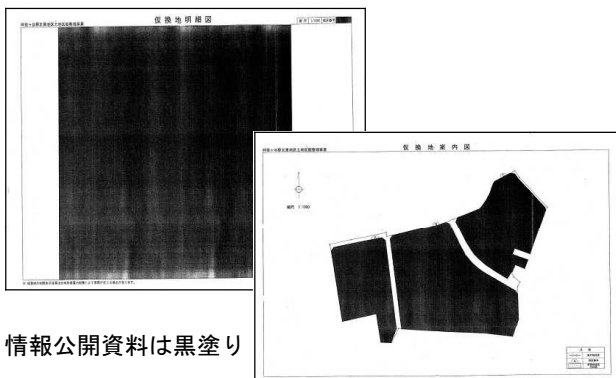
【いくらで交換されたか不明】

そもそも区有地を売買する場合は、高すぎても安すぎてもいけないので、不動産鑑定を行った上で、区の財産価格審議会、さらに区議会で審査を受けないと実行できないのですが、今回は「土地区画整理」による交換のため、鑑定すら行われず、闇の中です。民間事業者への過大な利益供与の可能性がります。

【誰と交換したかさえ不明】

区議会でも再三説明を求めてきましたが具体的な土地評価の説明はなく、情報公開請求したところ、公開された資料は黒塗りで、杉一小の土地を誰と交換したのかすらわからないのです。

いわんや、適正な交換になっているのかの検証などできません。これでは公共財産を守るという



情報公開資料は黒塗り

ゆい発 NOと言えない杉並区議会

実は、杉並区議会には阿佐ヶ谷開発の是非についての決定権も、杉一小の敷地を河北病院敷地と交換することについての決定権もありません。

区長の決定だけで進められる、「土地区画整理事業」という手法をわざわざ区が選んでいるからです。

これはおかしい、と私は一貫して言ってきましたが、区議会の大多数の議員は沈黙しています。区有地は区長が好き勝手にできるとでも思っているのでしょうか。それなら区議会はいりません。

千代田区議会（裏面）のように、不当な開発をしっかりと追及しなければなりません。



区議会議員としての責務を果たさきれないと考えました。

【杉並区にも「のり弁」】

国の情報隠しについては、「のり弁」といわれる真っ黒にぬりつぶされた資料が報道されています。自衛隊の日報や森友学園問題など、記憶に新しいところです。しかし、杉並区の情報公開でこんな真っ黒な資料が出てきたことは、少なくとも私は経験がありませんでした。

阿佐ヶ谷の土地交換にはよほど都合が悪いことがあるのだろうかと思ひます。

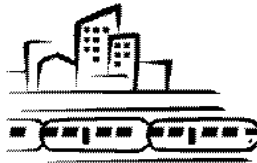
【田中区長は説明責任を放棄】

田中区長は昨年11月の区議会で私の質問に対し「納得できないのなら裁判するしかないだろう」と答弁しました。お金がかかる裁判はどうせできない、情報隠しは追及しきれないだろうと、高をくくり、説明責任を放棄した開き直りの発言です。そこでやむなく提訴に踏み切った次第です。

皆様、どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

千代田区長疑惑の規制緩和 杉並でも

報道でご存じのように、千代田区では議会が区長を刑事告発すると決め、これに対抗した区長が議会解散を宣言して混乱しています。



実は、この千代田区の問題と、杉並区の手がける阿佐ヶ谷開発には共通点があります。それは建築規制の緩和、特に「容積率」です。

千代田区長は区内のマンション開発に対して、区長権限で「容積率」を大幅に緩和、その見返りとして、特別に用意された「億ション」をいくつも提供され転売した疑惑が持たれています。

千代田区は都心だけに容積率はもともと高いのですが、飯田橋では410%→930%、日比谷では900%→1450%など、それぞれ500%以上緩和したとのことで、その緩和幅には驚きます。

ちなみに杉並区は住宅地が多く、容積率は大半が100~200%です。これと比べてもわかるように、ケタ違いの超高層マンションで事業者はポロ儲けです。一説には1つのマンションで緩和により200億円以上の「増収」になったそうです。

阿佐ヶ谷開発でも規模は小さいけれど同じ手法が使われています。

「けやき屋敷」はもともと容積率が200%でした。約1万㎡の土地なので床面積2万㎡まで建てら

新型コロナウイルス対策～事業者支援

杉並区議会は7月21日に臨時会を開催、第6号補正予算を審議、可決しました。

私は、先の4月30日の第1回臨時会で、杉並区が立ち遅れている中小企業支援、商店街支援を急ぐべき、と意見を述べましたが、その後も、融資相談窓口の増強や家主への店舗家賃支援は予算化されても、商店街支援はなかなか行われてきませんでした。

今回の第6号補正予算で、やっと「商店街応援キャンペーン」（買い物すると抽選で商品券が当たる）及び「環境整備支援事業」（衛生用品の購入費を助成）が予算化されました。また介護・障害福祉事業者への支援金も実現しました。

支援は今後さらに必要です。区は国・都にも要求して商店街や福祉事業者をしっかり守ってほしいと思います。

れることとなりますが、河北病院は最低3万㎡必要と希望していました。そこで区が容積率を300%まで緩和したのは、まさに「病院建設ありき」の政策変更です。

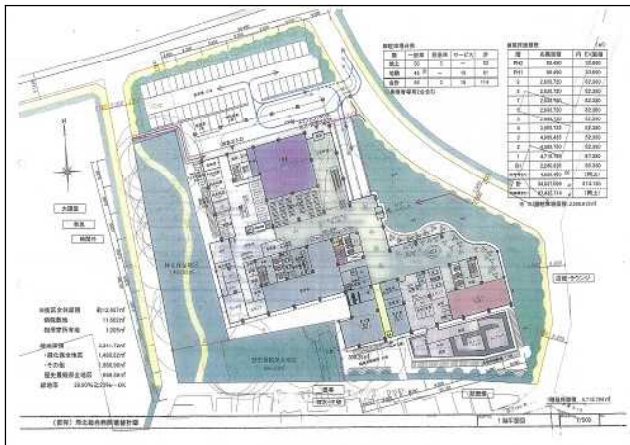
杉並区の田中区長がなにか業者から優遇を受けているとは思いませんが、病院とはいえ、1民間法人の便宜のために建築規制を緩和し、都市環境を犠牲にすることは、公正公平な行政とはいえません。

河北病院設計図を入手

*河北病院の移転改築は2025年完成予定

「けやき屋敷」の場所に移転する予定の河北病院の設計案を入手しました。

左図をみると、一見みどりが多いように見えま



すが、東側（右側）は現在は建物や駐車場の部分で、既存の樹木は区が義務づけた西側（L字型部分）しか残りません。

また、右図には「ヘリポート」が明記されています。区議会では「つくらないと聞いている」と再三答弁しているのに…？

